

項目		説明
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	食道癌患者における放射線性食道炎に対するミロガバリンの効果に関する検討
	研究対象者	食道癌と診断され、かつ括同意を取得した患者さんのうち、2021 年 1 月から 2024 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで放射線治療を受け、放射線性食道炎を発症し、ミロガバリンの投与を行った患者
	研究目的	放射線治療(RT)もしくは化学放射線療法(CRT)は食道癌に対する標準治療であるが、放射線性食道炎(radiation-induced esophagitis: RIE)が高頻度に認められ臨床上の問題となる。本研究は RIE に対するミロガバリン(MGB)の有効性を検討することを目的とする。
	研究方法	試料・情報の取得の方法も含めて記載してください 診療録から後方的に調査する
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 1 0 月 1 4 日 ～ 西 暦 2 0 2 6 年 3 月 2 8 日
	利用又は提供を開始する時期	[☒]総長が研究実施を許可した日 [☐] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[☐]試料:	[☐]血漿、[☐]血清、[☐]全血、[☐]末梢血から抽出した DNA、 [☐]病理検体(具体的に記載: _____)、 [☐]尿、[☐]糞便、[☐]唾液、[☐]胸水、[☐]腹水、[☐]脳脊髄液、 [☐]毛髪、[☐]その他(具体的に記載: _____)
	[☒]情報:	[☒]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[☒]年齢、[☐]生年月日、[☒]性別、[☒]既往歴、[☒]併存疾患、[☐]外来日・入院日・退院日、[☐]臨床検査値、[☐]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[☒]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[☐]ゲノムデータ、[☐]看護記録、[☐]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター	所属・氏名
	研究責任者	薬剤科 加納日南子
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・薬剤科・加納日南子・内線 3918 利用停止のお申し出は 2026 年 1 月 31 日までお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります